

「国語」							
色の内訳							
	A 課程	B 課程（G1）	B 課程（G2）	B 課程（G3）	C 課程		
教科の目標	小学部			中学部		高等部	
	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
知識及び技能	（１）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。			（１）日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。		（１）社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
思考力、判断力、表現力等	（２）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。			（２）日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。		（２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	
学びに向かう力、人間性等	（３）言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。			（３）言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。		（３）言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。	
段階の目標	1 段階	2 段階	3 段階	1 段階	2 段階	1 段階	2 段階
知識及び技能	ア 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようになる。	ア 日常生活に必要な身近な言葉や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れることができるようにする。	ア 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。	ア 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。	ア 日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。	ア 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。	ア 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	イ 言葉がイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	ウ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	ウ 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを受け止めたりしようとする態度を養う。	ウ 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	ウ 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。	ウ 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	ウ 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	ウ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
内容	1 段階	2 段階	3 段階	1 段階	2 段階	1 段階	2 段階
知識及び技能	ア 言葉の特徵や使い方						
	知-1-ア(ア) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることに。	知-2-ア(ア) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることに。	知-3-ア(ア) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。	知-1-ア(ア) 身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	知-2-ア(ア) 日常生活の中での周りの人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	知-1-ア(ア) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	知-2-ア(ア) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。
	発音・発声・話し方・		知-3-ア(イ) 姿勢や口形に気を付けて話すこと。	知-1-ア(イ) 発音や声の大きさに気を付けて話すこと。	知-2-ア(イ) 発声や発音に気を付けたり、声の大きさを調節したりして話すこと。	知-1-ア(イ) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すこと。	知-2-ア(イ) 話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くこと。
	書き言葉		知-3-ア(ウ) 日常生活でよく使われている平仮名、長音などを覚えること。	知-1-ア(ウ) 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ること。	知-2-ア(ウ) 長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使うこと。	知-1-ア(ウ) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つこと。	知-2-ア(ウ) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分け書くこと。
	語彙	知-1-ア(イ) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。	知-2-ア(ウ) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れること。	知-3-ア(エ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。	知-1-ア(エ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くこと。	知-2-ア(エ) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、使える範囲を広げること。	知-2-ア(エ) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話し方や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすること。
	文・文章		知-3-ア(オ) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ること。	知-1-ア(オ) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。	知-2-ア(オ) 修飾と被修飾との関係、指示する語句の役割について理解すること。	知-1-ア(オ) 接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。	知-2-ア(オ) 文と文との接続の関係、話し方や文章の構成や種類について理解すること。
	言葉遣い			知-1-ア(カ) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うこと。	知-2-ア(カ) 敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書くこと。	知-1-ア(カ) 日常よく使われる敬語を理解し使うこと。	知-2-ア(カ) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。
	音読		知-3-ア(カ) 語のまとまりに気を付けて音読すること。	知-1-ア(キ) 語のまとまりに気を付けて音読すること。	知-2-ア(キ) 内容の大体を意識しながら音読すること。	知-1-ア(キ) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。	知-2-ア(キ) 文章を音読したり、朗読したりすること。
	イ 情報の扱い方						
	情報間の関係		知-3-イ(ア) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解すること。	知-1-イ(ア) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。	知-2-イ(ア) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。	知-1-イ(ア) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解すること。	知-2-イ(ア) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解すること。
	情報の整理		知-3-イ(イ) 図表を用いた調べ方を理解し使うこと。		知-2-イ(イ) 必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使うこと。	知-1-イ(イ) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うこと。	知-2-イ(イ) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うこと。
イ／ウ 我が国の言語文化							
伝統的な言語文化	知-1-イ(ア) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむこと。	知-2-イ(ア) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	知-3-ウ(ア) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむこと。	知-1-ウ(ア) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	知-2-ウ(ア) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	知-1-ウ(ア) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うこと。	知-2-ウ(ア) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。
	知-1-イ(イ) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。	知-2-イ(イ) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。	知-3-ウ(イ) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れること。	知-1-ウ(イ) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ること。	知-2-ウ(イ) 生活に身近なことわざなどを知り、使うことにより様々な表現に親しむこと。		知-2-ウ(イ) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。
書写	知-1-イ(ウ) ⑦ いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。	知-2-イ(ウ) ⑦ いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむこと。	知-3-ウ(ウ) ⑦ 目的に合った筆記具を選び、書くこと。	知-1-ウ(ウ) ⑦ 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。	知-2-ウ(ウ) ⑦ 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。	知-1-ウ(イ) ⑦ 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。	知-2-ウ(イ) ⑦ 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くこと。
	知-1-イ(ウ) ⑧ 筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ること。	知-2-イ(ウ) ⑧ 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けること。	知-3-ウ(ウ) ⑧ 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。	知-1-ウ(ウ) ⑧ 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書くこと。	知-2-ウ(ウ) ⑧ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。		知-2-ウ(イ) ⑧ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。
読書	知-1-イ(エ) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつこと。	知-2-イ(エ) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。	知-3-ウ(エ) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ること。	知-1-ウ(エ) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ること。	知-2-ウ(エ) 幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ること。	知-1-ウ(ウ) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。	知-2-ウ(エ) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。

思考力，判断力，表現力等	A 聞くこと・話すこと							
	聞き取り	思A-1-ア 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。	思A-2-ア 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。	思A-3-ア 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ること。	思A-1-ア 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。	思A-2-ア 身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えること。	思A-1-ア 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えること。	思A-2-ア 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えること。
	指示理解	思A-1-イ 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。	思A-2-イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。					
	話題の設定	思A-1-ウ 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。	思A-2-ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。	思A-3-イ 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。	思A-1-イ 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること。	思A-2-イ 相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすること。	思A-1-イ 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	思A-2-イ 目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討すること。
	構成の検討			思A-3-ウ 見聞きしたことなどのあらましや、自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。	思A-1-ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。	思A-2-ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えること。	思A-1-ウ 話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	思A-2-ウ 話の内容が明確になるように、話の構成を考えること。
		挨拶・応対		思A-2-エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。	思A-3-エ 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。	思A-1-エ 自己紹介や電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話すこと。	思A-2-エ 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすること。	思A-1-エ 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。
					思A-3-オ 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。			
	話し合い			思A-3-カ 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。	思A-1-オ 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。	思A-2-オ 物事を決めるために、簡単な役割や進め方に沿って話し合い、考えをまとめること。	思A-1-オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。	思A-2-オ 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。
	B 書くこと							
	題材の設定	思B-1-ア 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	思B-2-ア 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	思B-3-ア 身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。	思B-1-ア 見聞きしたことや経験したことから、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること。	思B-2-ア 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。	思B-1-ア 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすること。	思B-2-ア 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
	構成の検討			思B-3-イ 見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。	思B-1-イ 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	思B-2-イ 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。	思B-1-イ 書く内容の中心を決め、内容のまともりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。	思B-2-イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えること。
		記述	思B-1-イ 文字に興味をもち、書こうとすること。	思B-2-イ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。	思B-3-ウ 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。	思B-1-ウ 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くこと。	思B-2-ウ 事実と自分の考えとの違いなどが相手に伝わるように書き表し方を工夫すること。	思B-1-ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。
								思B-2-エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
	推敲			思B-3-エ 書いた語句や文を読み、間違いを正すこと。	思B-1-エ 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すこと。	思B-2-エ 文章を読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりすること。	思B-1-エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。	思B-2-オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
		共有			思B-3-オ 文などに対して感じたことを伝えること。	思B-1-オ 文章に対する感想をもち、伝え合うこと。	思B-2-オ 文章に対する感想を伝え合い、内容や表現のよいところを見付けること。	思B-1-オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
	C 読むこと							
	内容の把握	思C-1-ア 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。	思C-2-ア 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。	思C-3-ア 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像すること。	思C-1-ア 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。	思C-2-ア 様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。	思C-1-ア 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えること。	思C-2-ア 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
		構造の把握	思C-1-イ 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現すること。	思C-2-イ 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えること。	思C-3-イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。	思C-1-イ 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。	思C-2-イ 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えること。	思C-1-イ 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。
	読取り、行動化	思C-1-ウ 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動すること。	思C-2-ウ 日常生活でよく使われている表示などの特徴に気付き、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。	思C-3-ウ 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。	思C-1-ウ 日常生活で必要な語句や文章などを読み、行動すること。	思C-2-ウ 日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動すること。	思C-1-ウ 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像すること。	思C-2-ウ 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
	要点の理解					思C-2-エ 中心となる語句や文を明確にしながらか読むこと。	思C-1-エ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	思C-2-エ 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けること。
		考えの形成	思C-1-エ 絵本などを見て、次の場面を楽しむにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。	思C-2-エ 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。	思C-3-エ 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。	思C-1-エ 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすること。	思C-2-オ 読んで感じたことや分かったことを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	思C-1-オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
色の内訳								
	A 課程	B 課程 (G1)	B 課程 (G2)	B 課程 (G3)	C課程			

「算数」「数学」											
色の内訳											
	A 課程	B 課程 (G2)	B 課程 (G3)	C 課程							
	B 課程 (G1)										
教科の目標											
知識及び技能		小学部 (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。			中学部 (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。			高等部 (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			
思考力、判断力、表現力等		(2) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。			(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。			
学びに向う力、人間性等		(3) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			(1) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
段階の目標		1 段階		2 段階		3 段階		1 段階		2 段階	
知識及び技能	数量の基礎	ア 身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。									
	数と計算	ア ものの有無や3までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わることにについての技能を身に付けるようにする。		ア 10までの数の概念や表し方について分かり、数に対する感覚をもつとともに、ものと数との関係に関心をもって関わることにについての技能を身に付けるようにする。		ア 100までの数の概念や表し方について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法の意味について理解し、これらの簡単な計算ができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。		ア 3位程度の整数の概念について理解し、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらを計算することについての技能を身に付けるようにする。		ア 整数の概念や性質について理解を深め、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法、乗法及び分数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。	
	図形	ア 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについての技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りのものの形に着目し、集めたり、分類したりすることを通して、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りのものの形の観察などの活動を通して、図形についての感覚を豊かにするとともに、ものについて、その形の合同、移動、位置、機能及び角の大きさの意味に関わる基礎的な知識を理解することなどについての技能を身に付けるようにする。		ア 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形について理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図したり、構成したりすることについての技能を身に付けるようにする。		ア 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図や構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	
	測定	ア 身の回りにあるものの量の大きさに気付き、置の違いについての感覚を養うとともに、量に関わることにについての技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、置の大きさの違いが分かるとともに、二つの置の大きさを比べることについての技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りにある長さや体積などの置の単位と測定の意味について理解し、置の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、置の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けるようにする。			
	変化と関係							ア 二つの数量の関係や変化の様子を表や式、グラフで表すことについて理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身に付けるようにする。		ア 比例の関係や異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方、百分率について理解するとともに、目的に応じてある二つの数量の関係を別の二つの数量とを比べて表し、表現したりする方法についての技能を身に付けるようにする。	
	データの活用			ア 身の回りのものや身近な出来事をつなぐりに関心をもち、それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり、読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りにある事象を、簡単な絵や図を用いて整理したり、記号に置き換えて表したりしながら、読み取り方について理解することについての技能を身に付けるようにする。		ア 身の回りにあるデータを分類整理して簡単な表やグラフに表したり、それらを問題解決において用いたりすることについての技能を身に付けるようにする。		ア データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。	
思考力、判断力、表現力等	数量の基礎	イ 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養う。									
	数と計算	イ 身の回りのものの有無や数的要素に気付き、数を直感的に捉えたり、数を用いて表現したりする力を養う。		イ 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方を考え、表現する力を養う。		イ 日常の事象について、ものの数に着目し、具体物や図などを用いながら数の数え方や計算の仕方を考え、表現する力を養う。		イ 数とその表現や数の関係に着目し、具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えたり、関連付けて考えたりする力を養う。		イ 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を考えたり、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。	
	図形	イ 身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。		イ 身の回りのものの形に関心をもち、分類したり、集めたりして、形の性質に気付き力を養う。		イ 身の回りのものの形に着目し、びつたり重なる形、移動、ものの位置及び機能的な特徴等について具体的に操作をして考える力を養う。		イ 三角形や四角形、箱の形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から関連付けて考えたりする力を養う。		イ 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から観察したりする力、図形を構成する要素に着目し、図形の計量について考察する力を養う。	
	測定	イ 身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、置の大きさにより区別する力を養う。		イ 量に着目し、二つの置を比べる方法が分かり、一方を基準にして他方と比べる力を養う。		イ 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相等関係を表現したりする力を養う。		イ 身の回りの事象を置に着目して捉え、置の単位を用いて的確に表現する力を養う。		イ 身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。	
	変化と関係									イ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気付き、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察したり、異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。	
	データの活用	イ 身の回りのものや身近な出来事をつなぐりなどの共通の要素に着目し、簡単な表やグラフで表現する力を養う。				イ 身の回りの事象を、比較のために簡単な絵や図に置き換えて簡潔に表現したりして、データ 数を記号で表現したりして、考える力を養う。		イ 身の回りの事象を、データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり、考察したりする力を養う。		イ 身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。	
学びに向う力、人間性等	量の基礎	ウ 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。									
	数と計算	ウ 数量に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。		ウ 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。		ウ 数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。		ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	図形	ウ 図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。		ウ 図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。		ウ 図形や数量の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。		ウ 図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		ウ 図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	測定	ウ 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。		ウ 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。		ウ 数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。		ウ 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	変化と関係									ウ 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	データの活用			ウ 数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。		ウ 数量や図形の違いを理解し、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする態度を養う。		ウ データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		ウ データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	

内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階		
A 数量の基礎g	具体物の有無						
	A 具体物に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。						
	A-1-ア (ア) ㉑ 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。						
	A-1-ア (ア) ㉒ 目の前で隠されたものを探したり、身近にあるものや人の名を聞いて指を差したりすること。						
	A-1-ア (ア) ㉓ 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えること。						
	ものともとの対応						
	イものともとの対応させることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。						
	A-1-イ (ア) ㉑ ものともとの対応させて配ること。						
	A-1-イ (ア) ㉒ 分割した絵カードを組み合わせること。						
	A-1-イ (ア) ㉓ 関連の深い絵カードを組み合わせること。						
	A-1-イ (ア) ㉔ ものともとの関連付けすることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。						
A 数と計算	数の概念	数の概念	数の概念	数の概念	数の概念	数の概念	数の概念
	A 数えることの基礎に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	A 10までの数の数え方や表し方、構成に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	A 100までの整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	A 整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	A 整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	A 整数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	A 整数の性質及び整数の構成に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	A-1-ア (ア) ㉑ ものの有無に気付くこと。	A-2-ア (ア) ㉑ ものともとの対応させることにより、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること。	A-3-ア (ア) ㉑ 20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすること。	A-1-ア (ア) ㉑ 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすること。	A-2-ア (ア) ㉑ 4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について、理解すること。	A-1-ア (ア) ㉑ 万の単位を知ること。	A-2-ア (ア) ㉑ 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解すること。
	A-1-ア (ア) ㉒ 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すこと。	A-2-ア (ア) ㉒ ものの集まりと対応して、数詞が分かること。	A-3-ア (ア) ㉒ 100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること。	A-1-ア (ア) ㉒ 3位数の表し方について理解すること。	A-2-ア (ア) ㉒ 10倍、100倍、1／10の大きさの数及びその表し方について知ること。	A-1-ア (ア) ㉒ 10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びその表し方の理解を深めること。	A-2-ア (ア) ㉒ 約数、倍数について理解すること。
	A-1-ア (ア) ㉓ 5までの範囲で数唱をすること。	A-2-ア (ア) ㉓ ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。	A-3-ア (ア) ㉓ 数える対象を2ずつや5ずつのまとまりで数えること。	A-1-ア (ア) ㉓ 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解すること。	A-2-ア (ア) ㉓ 数を千を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解を深めること。	A-1-ア (ア) ㉓ 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。	
	A-1-ア (ア) ㉔ 3までの範囲で具体物を取ること。	A-2-ア (ア) ㉔ 個数を正しく数えたり書き表したりすること。	A-3-ア (ア) ㉔ 数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること。	A-1-ア (ア) ㉔ 3位数の数系列、順序、大小について、数直線上の目盛りを読んで理解したり、数を表したりすること。			
	A-1-ア (ア) ㉕ 対応させてものを配ること。	A-2-ア (ア) ㉕ 二つの数を比べて数の大小が分かること。	A-3-ア (ア) ㉕ 具体物を分配したり等分したりすること。	A-1-ア (ア) ㉕ 一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。			
	A-1-ア (ア) ㉖ 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くこと。	A-2-ア (ア) ㉖ 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。					
		A-2-ア (ア) ㉗ 0の意味について分かること。					
		A-2-ア (ア) ㉘ 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめて表すこと。					
		A-2-ア (ア) ㉙ 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。					
		A-2-ア (ア) ㉚ 10の補数が分かること。					
	A-1-ア (イ) ㉑ 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付く、それらを学習や生活で生かすこと。	A-2-ア (イ) ㉑ 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。	A-3-ア (イ) ㉑ 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすこと。	A-1-ア (イ) ㉑ 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすこと。	A-2-ア (イ) ㉑ 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすこと。	A-1-ア (イ) ㉑ 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすこと。	A-2-ア (イ) ㉑ 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。
			加法と減法	加法と減法	加法と減法	整数及び小数の表し方	分数
			イ 整数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 整数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 整数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 整数及び小数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 分数に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
			A-3-イ (ア) ㉑ 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができること。また、それらの筆算の仕方について知ること。	A-1-イ (ア) ㉑ 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができること。また、それらの筆算の仕方について知ること。	A-2-イ (ア) ㉑ 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができること。また、それらの筆算についての仕方を知ること。	A-1-イ (ア) ㉑ ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。	A-2-イ (ア) ㉑ 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。
			A-3-イ (ア) ㉒ 加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。	A-1-イ (ア) ㉒ 簡単な場合について3位数の加法及び減法の計算の仕方を知ること。	A-2-イ (ア) ㉒ 加法及び減法に関して成り立つ性質を理解すること。		A-2-イ (ア) ㉒ 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。
			A-3-イ (ア) ㉓ 1位数と1位数との加法の計算ができること。	A-1-イ (ア) ㉓ 加法及び減法に関して成り立つ性質について理解すること。	A-2-イ (ア) ㉓ 計算機を使って、具体的な生活場面における加法及び減法の計算ができること。		A-2-イ (ア) ㉓ 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。
			A-3-イ (ア) ㉔ 1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができること。	A-1-イ (ア) ㉔ 計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算ができること。			A-2-イ (ア) ㉔ 分数の相等及び大小について知り、大小を比べること。
			A-3-イ (ア) ㉕ 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解すること。				
			A-3-イ (ア) ㉖ 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。				
			A-3-イ (ア) ㉗ 20までの数の範囲で減法の計算ができること。				
			A-3-イ (イ) ㉑ 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすること。	A-1-イ (イ) ㉑ 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすこと。	A-2-イ (イ) ㉑ 数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすこと。	A-1-イ (イ) ㉑ 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。	A-2-イ (イ) ㉑ 数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。
							A-2-イ (イ) ㉒ 分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめること。
				乗法	乗法	概数	分数の加法及び減法
				ウ 整数の乗法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 整数の乗法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 概数に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 分数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
				A-1-ウ (ア) ㉑ 乗法が用いられる場合や意味について知ること。	A-2-ウ (ア) ㉑ 1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いること。	A-1-ウ (ア) ㉑ 概数が用いられる場面について知ること。	A-2-ウ (ア) ㉑ 異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。
				A-1-ウ (ア) ㉒ 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。	A-2-ウ (ア) ㉒ 交換法則や分配法則といった乗法に関して成り立つ性質を理解すること。	A-1-ウ (ア) ㉒ 四捨五入について知ること。	
				A-1-ウ (ア) ㉓ 乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること。		A-1-ウ (ア) ㉓ 目的に応じて四則計算の結果の見積りをする。	
				A-1-ウ (ア) ㉔ 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算ができること。			
				A-1-ウ (イ) ㉑ 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすこと。	A-2-ウ (イ) ㉑ 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすこと。	A-1-ウ (イ) ㉑ 日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えとともに、それを日常生活に生かすこと。	A-2-ウ (イ) ㉑ 分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えること。

A 数と計算					除法	加法・減法	分数の乗法・除法
					エ 整数の除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 整数の加法及び減法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 分数の乗法及び除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					A-2-エ (ア) の 除法が用いられる場合や意味について理解すること。	A-1-エ (ア) の 大きな数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。	A-2-エ (ア) の 乗数や除数が整数や分数である場合も含めて、分数の乗法及び除法の意味について理解すること。
					A-2-エ (ア) ④ 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。	A-1-エ (ア) ④ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。	A-2-エ (ア) ④ 分数の乗法及び除法の計算ができること。
					A-2-エ (ア) の 除法と乗法との関係について理解すること。		A-2-エ (ア) の 分数の乗法及び除法についても、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。
					A-2-エ (ア) ㊟ 除数と商が共に1位数である除法の計算ができること。		
					A-2-エ (ア) ⑤ 余りについて知り、余りの求め方が分かること。		
					A-2-エ (イ) の 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすこと。	A-1-エ (イ) の 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすること。	A-2-エ (イ) の 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えること。
					小数	乗法	数量の関係を表す式
					オ 小数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	オ 整数の乗法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	オ 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					A-2-オ (ア) の 端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知る。	A-1-オ (ア) の 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。	A-2-オ (ア) の 数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。
					A-2-オ (ア) ④ 1／10の位までの小数の仕組みや表し方について理解すること。	A-1-オ (ア) ④ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。	
						A-1-オ (ア) の 乗法に関して成り立つ性質について理解すること。	
					A-2-オ (イ) の 数のまともに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすこと。	A-1-オ (イ) の 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすること。	A-2-オ (イ) の 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。
					分数	除法	
					カ 分数の表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	カ 整数の除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
					A-2-カ (ア) の 1／2、1／4など簡単な分数について知ること。	A-1-カ (ア) の 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。	
						A-1-カ (ア) ④ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。	
						A-1-カ (ア) の 除法について、次の関係を理解すること。 (被除数)＝(除数)×(商)＋(余り)	
						A-1-カ (ア) ㊟ 除法に関して成り立つ性質について理解すること。	
					A-2-カ (イ) の 数のまともに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすこと。	A-1-カ (イ) の 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすること。	
					数量の関係を表す式	小数とその計算	
					キ 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	キ 小数とその計算に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
					A-2-キ (ア) の 数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりすること。	A-1-キ (ア) の ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知る。	
					A-2-キ (ア) ④ □などを用いて数量の関係を式に表すことができることを知る。	A-1-キ (ア) ④ 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。	
					A-2-キ (ア) の □などに数を当てはめて調べる。	A-1-キ (ア) の 小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができること。	
						A-1-キ (ア) ㊟ 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。	
					A-2-キ (イ) の 数量の関係に着目し、事柄や関係を式や図を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりすること。	A-1-キ (イ) の 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	
						小数の乗法・除法	
						ク 小数の乗法及び除法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
						A-1-ク (ア) の 乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解すること。	
						A-1-ク (ア) ④ 小数の乗法及び除法の計算ができること。	
						A-1-ク (ア) の 余りの大きさについて理解すること。	
						A-1-ク (ア) ㊟ 小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。	
						A-1-ク (イ) の 乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすること。	

A 数と計算						分数	
						ケ 分数とその計算に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
						A-1-ケ（ア）⑦ 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解すること。また、分数の表し方について知ること。	
						A-1-ケ（ア）⑧ 分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知ること。	
						A-1-ケ（ア）⑨ 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。	
						A-1-ケ（ア）⑩ 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。	
						A-1-ケ（ア）⑪ 同分母の分数の加法及び減法の計算ができること。	
						A-1-ケ（イ）⑦ 数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすこと。	
						A-1-ケ（イ）⑧ 数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かすこと。	
						数量の関係	
						コ 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
						A-1-コ（ア）⑦ 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算すること。	
						A-1-コ（ア）⑧ 公式についての考え方を理解し、公式を用いること。	
						A-1-コ（ア）⑨ 数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすること。	
						A-1-コ（ア）⑩ 数量の関係を表す式についての理解を深めること。	
						A-1-コ（イ）⑦ 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。	
						A-1-コ（イ）⑧ 二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察すること。	
						計算に関して成り立つ性質	
						サ 計算に関して成り立つ性質に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
						A-1-サ（ア）⑦ 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること。	
						A-1-サ（イ）⑦ 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えること。	
B 図形	分類	分類	性質（身の回りにあるものの形）	性質（図形）	性質（図形）	性質（平面図形）	性質（平面図形）
	ア ものの類別や分類・整理に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	B-1-ア（ア）⑦ 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。	B-2-ア（ア）⑦ 色や形、大きさに着目して分類すること。	B-3-ア（ア）⑦ ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること。	B-1-ア（ア）⑦ 直線について知ること。	B-2-ア（ア）⑦ 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に着目すること。	B-1-ア（ア）⑦ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。	B-2-ア（ア）⑦ 縮図や拡大図について理解すること。
	B-1-ア（ア）⑧ 形を観点に区別すること。	B-2-ア（ア）⑧ 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。	B-3-ア（ア）⑧ 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。	B-1-ア（ア）⑧ 三角形や四角形について知ること。	B-2-ア（ア）⑧ 二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図すること。	B-1-ア（ア）⑧ 図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。	B-2-ア（ア）⑧ 対称な図形について理解すること。
	B-1-ア（ア）⑨ 形が同じものを選ぶこと。		B-3-ア（ア）⑨ 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。	B-1-ア（ア）⑨ 正方形、長方形及び直角三角形について知ること。	B-2-ア（ア）⑨ 基本的な図形と関連して角について知ること。	B-1-ア（ア）⑨ 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。	
	B-1-ア（ア）⑩ 似ている二つのものを結び付けること。			B-1-ア（ア）⑩ 正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりすること。	B-2-ア（ア）⑩ 直線の平行や垂直の関係について理解すること。	B-1-ア（ア）⑩ 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。	
	B-1-ア（ア）⑪ 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせること。			B-1-ア（ア）⑪ 直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現すること。	B-2-ア（ア）⑪ 円について、中心、半径及び直径を知ること。また、円に関連して、球についても直径などを知ること。	B-1-ア（ア）⑪ 円周率の意味について理解し、それを用いること。	
	B-1-ア（ア）⑫ 同じもの同士の集合づくりをすること。			B-1-ア（ア）⑫ 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりすること。			
				B-1-ア（ア）⑬ 正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりすること。			
	B-1-ア（イ）⑦ 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えること。	B-2-ア（イ）⑦ ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。	B-3-ア（イ）⑦ 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。	B-1-ア（イ）⑦ 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見いだし、身の回りのものの形を図形として捉えること。	B-2-ア（イ）⑦ 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	B-1-ア（イ）⑦ 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	B-2-ア（イ）⑦ 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。
	B-1-ア（イ）⑧ ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつこと。		B-3-ア（イ）⑧ 身の回りにあるものの形を図形として捉えること。			B-1-ア（イ）⑧ 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。	
	B-1-ア（イ）⑨ ものとのとの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見付け出し、日常生活で生かすこと。		B-3-ア（イ）⑨ 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること。				

		性質（身の回りにあるものの形）	角の大きさ		面積	立体図形	身の回りにある形の概形やおよその面積
		イ 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		イ 面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 立体図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 身の回りにある形の概形やおよその面積などに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		B-2-イ（ア）の身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ること。	B-3-イ（ア）の傾斜をつくると角ができることを理解すること。		B-2-イ（ア）の面積の単位[平方センチメートル（cm ² ）、平方メートル（m ² ）、平方キロメートル（km ² ）]について知り、測定の意味について理解すること。	B-1-イ（ア）の立方体、直方体について知ること。	B-2-イ（ア）の身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。
		B-2-イ（ア）の縦や横の線、十字、△やロをかくこと。			B-2-イ（ア）の正方形及び長方形の面積の求め方について知ること。	B-1-イ（ア）の直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。	
		B-2-イ（ア）の大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。				B-1-イ（ア）の見取図、展開図について知ること。	
						B-1-イ（ア）の基本的な角柱や円柱について知ること。	
		B-2-イ（イ）の身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。	B-3-イ（イ）の傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現すること。		B-2-イ（イ）の面積の単位に着目し、図形の面積について、求め方を考えたり、計算して表したりすること。	B-1-イ（イ）の図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。	B-2-イ（イ）の図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。
					角の大きさ	ものの位置	平面図形の面積
					ウ 角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ ものの位置に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ウ 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					B-2-ウ（ア）の角の大きさを回転の大きさとして捉えること。	B-1-ウ（ア）のものの位置の表し方について理解すること。	B-2-ウ（ア）の円の面積の計算による求め方について理解すること。
					B-2-ウ（ア）の角の大きさの単位（度（°））について知り、測定の意味について理解すること。		
					B-2-ウ（ア）の角の大きさを測定すること。		
					B-2-ウ（イ）の角の大きさの単位に着目し、図形の角の大きさを的確に表現して比較したり、図形に生かしたりすること。	B-1-ウ（イ）の平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。	B-2-ウ（イ）の図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。
						平面図形の面積	立体図形の体積
						エ 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	エ 立体図形の体積に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
						B-1-エ（ア）の三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。	B-2-エ（ア）の体積の単位（立方センチメートル（cm ³ ）、立方メートル（m ³ ）について理解すること。
							B-2-エ（ア）の立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解すること。
							B-2-エ（ア）の基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。
						B-1-エ（イ）の図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。	B-2-エ（イ）の体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。
							B-2-エ（イ）の図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。
C 測定		量・測定	量・測定	量・測定	量・測定		
		ア 身の回りにある具体物のもつ大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにある具体物の量の大きさに注目し、二つの量の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りのものの量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
		C-1-ア（ア）の大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。	C-2-ア（ア）の長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。	C-3-ア（ア）の長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較すること。	C-1-ア（ア）の目盛の原点を対象の端に当てて測定すること。		
		C-1-ア（ア）のある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現すること。	C-2-ア（ア）の二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること。	C-3-ア（ア）の身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること。	C-1-ア（ア）の長さの単位[ミリメートル（mm）、センチメートル（cm）、メートル（m）、キロメートル（km）]や重さの単位[グラム（g）、キログラム（kg）]について知り、測定の意味を理解すること。		
			C-2-ア（ア）の長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること。		C-1-ア（ア）のかさの単位[ミリリットル（mL）、デシリットル（dL）、リットル（L）]について知り、測定の意味を理解すること。		
					C-1-ア（ア）の長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること。		
		C-1-ア（イ）の大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現すること。	C-2-ア（イ）の長さ、重さ、高さ及び広さなどの置を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、置の大きさを用語を用いて表現したりすること。	C-3-ア（イ）の身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大きさを比較したり、表現したりすること。	C-1-ア（イ）の身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で置の大きさを表現したり、比べたりすること。		
				時刻や時間	時刻や時間		
			イ 時刻や時間に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 時刻や時間に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。			
			C-3-イ（ア）の日常生活の中で時刻を読むこと。	C-1-イ（ア）の時間の単位（秒）について知ること。			
			C-3-イ（ア）の時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解すること。	C-1-イ（ア）の日常生活に必要な時刻や時間を求めること。			
			C-3-イ（イ）の時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結び付けて表現すること。	C-1-イ（イ）の時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすこと。			

C 変化と関係					二つの数量関係	二つの数量関係	二つの数量関係
					ア 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					C変-2-ア(ア)の 変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。	C変-1-ア(ア)の 簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。	C変-2-ア(ア)の 比例の関係の意味や性質を理解すること。
							C変-2-ア(ア)の 比例の関係を用了問題解決の方法について理解すること。
							C変-2-ア(ア)の 反比例の関係について理解すること。
					C変-2-ア(イ)の 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察すること。	C変-1-ア(イ)の 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。	C変-2-ア(イ)の 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうすること。
					割合	割合	割合
					イ 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
					C変-2-イ(ア)の 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること。	C変-1-イ(ア)の 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。	C変-2-イ(ア)の 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらうすること。
					C変-2-ア(イ)の 日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察すること。	C変-1-ア(イ)の 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。	C変-2-イ(イ)の 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと
						割合	
						ウ 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
D データの活用		分類	分類	表・データ	表・データ	表・データ	表・データ
		ア ものの分類に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにある事象を簡単な絵や図、記号に置き換えることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 身の回りにあるデータを簡単な表やグラフで表したり、読み取ったりすることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア データを表やグラフで表したり、読み取ったりすることに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		D-2-ア(ア)の 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。	D-3-ア(ア)の ものどものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること。	D-1-ア(ア)の 身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすること。	D-2-ア(ア)の データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすること。	D-1-ア(ア)の 数量の関係を割合で捉え、円グラフや棒グラフで表したり、読んだりすること。	D-2-ア(ア)の 代表値の意味や求め方を理解すること。
			D-3-ア(ア)の 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること。		D-2-ア(ア)の データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフで表したり、読み取ったりすること。	D-1-ア(ア)の 円グラフや棒グラフの意味やそれらの用い方を理解すること。	D-2-ア(ア)の 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解すること。
					D-2-ア(ア)の 表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解すること。	D-1-ア(ア)の データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ること。	D-2-ア(ア)の 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解すること。
			D-3-ア(イ)の 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること。	D-3-ア(イ)の 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現すること。	D-1-ア(イ)の 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすること。	D-2-ア(イ)の 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすること。	D-2-ア(イ)の 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断したりするなど、その妥当性について批判的に考察すること。
					D-2-ア(イ)の 目的に応じてデータを集めて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見付けて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりすること。		
		同等・多少				速算結果の平均	起こり得る場合
		イ 同等と多少に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。				イ 測定した結果を平均する方法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	イ 起こり得る場合に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		D-2-イ(ア)の ものどものとを対応させることによって、ものの同等や多少が分かること。				D-1-イ(ア)の 平均の意味や求め方を理解すること。	D-2-イ(ア)の 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解すること。
		D-2-イ(イ)の 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること。				D-1-イ(イ)の 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。	D-2-イ(イ)の 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察すること。
		表					
数学的活動		ウ ○×を用いた表に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。					
		D-2-ウ(ア)の 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。					
		D-2-ウ(ア)の 簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。					
		D-2-ウ(イ)の 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現すること。					
	ア 内容の「A数量の基礎」、 「B数と計算」、 「C図形」及び「D測定」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、 「B図形」、 「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、 「B図形」、 「C測定」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A 数と計算」、 「B図形」、 「C 測定」及び「D データの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A 数と計算」、 「B図形」、 「C 変化と関係」及び「D データの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、 「B図形」、 「C変化と関係」及び「Dデータの活用」に示す学習については、次のような数学的活動に取り組むものとする。	ア 内容の「A数と計算」、 「B図形」、 「C変化と関係」及び「Dデータの活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような数学的活動に取り組むものとする。
	数-1-ア(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形に関わる活動	数-2-ア(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりする活動	数-3-ア(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わる活動	数-1-ア(ア) 日常生活の事象から見いだした数学の問題を、具体物や図、式などを用いて解決し、結果を確かめたり、日常生活に生かしたりする活動	数-2-ア(ア) 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数学の学習に関わる活動	数-1-ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動	数-2-ア(ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動
	数-1-ア(イ) 日常生活の問題を取り上げたり算数の問題を具体物などを用いて解決したりして、結果を確かめる活動	数-2-ア(イ) 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動	数-3-ア(イ) 日常生活の事象から見いだした算数の問題を、具体物、絵図、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動	数-1-ア(イ) 問題解決した過程や結果を、具体物や図、式などを用いて表現し伝え合う活動	数-2-ア(イ) 日常の事象から見いだした数学の問題を、具体物や図、表及び式などを用いて解決し、結果を確かめたり、日常生活に生かしたりする活動	数-1-ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動	数-2-ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動
		数-2-ア(ウ) 問題解決した過程や結果を、具体物などを用いて表現する活動	数-3-ア(ウ) 問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝え合う活動		数-2-ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、具体物や図、表、式などを用いて表現し伝え合う活動	数-1-ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動	数-1-ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動

A 課程の国語/数学（算数）/自立活動の指導内容（案）

	区分・項目（学習指導要領小学部 1 段階）	内容
国 語	<u>知-1-ア(ア)</u> 身近な人の話し掛けに憤れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる事。	・季節や学校行事等に合わせて説明する、振り返るなど
	<u>知-1-ア(イ)</u> 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。 <u>知-1-イ(イ)</u> 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。	・手遊び、言葉遊びなど
	<u>知-1-イ(ア)</u> 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむこと。	・昔話の読み聞かせ
	<u>知-1-イ(ウ) ㊦</u> いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。	・鉛筆、クレヨン、絵筆、刷毛などの筆記具を使った学習
	<u>思A-1-ア</u> 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。	・動物や昆虫の鳴き声、乗り物の音、水や風の音などを聞く、感じる学習
	<u>思A-1-イ</u> 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。	・声当てクイズなど
	<u>思C-1-ア</u> 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目すること。 <u>思C-1-エ</u> 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。	・絵本の読み聞かせや紙芝居、ペープサートなど
算 数	<u>A-1-ア（ア） ㊦</u> 具体物に気付いて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。	・物を投げたり転がしたりして追視する
	<u>A-1-ア（イ） ㊦</u> 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えること。	・音のする物（聴覚）臭いのする物（臭覚）光る物（視覚）いろいろな堅さの物（触覚）を教材とした学習
	<u>A-1-ア（ア） ㊦</u> ものの有無に気付くこと。	・具体物を見せたり見せなかったりして有無に気付かせる、拡大して物を見せるなどの学習
	<u>B-1-ア（ア） ㊦</u> 具体物に注目して指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすること。 <u>B-1-ア（ア） ㊦</u> 形を観点に区別すること。	・いろいろな形の図形に触る見る。 ・型はめ・プットインなど

	<u>B-1-ア (イ) ①</u> ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものにも気づき、日常生活の中で関心をもつこと。 <u>B-1-ア (イ) ②</u> ものとの関係性に注意を向け、ものの属性に気づき、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすこと。	・点や線、点線、丸や三角、四角などの形の物を日常生活から探す学習など
	<u>C-1-ア (ア) ㊦</u> 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別すること。 <u>C-1-ア (ア) ①</u> ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現すること。	・大きい物、小さい物、長いもの、短い物などを身近な物から学習する
自立活動	以下の内容を個別の指導計画に沿って内容設定し学習する	
	<健康の保持> ・健康状態の維持・改善	・拘縮や変形予防のポジショニングや筋弛緩の技術の習得 ・呼吸循環機能の改善、向上
	<心理的な安定> ・情緒の安定	・不安要因の解明と対応 ・場面、状況の理解
	人間関係の形成 ・他者とのかかわりの基礎 ・他者の意図や感情の理解 ・自己の理解と行動の調整 ・集団への参加の基礎	・他者（友達や先生）とのやりとり（受容と対応） ・人との関わりの心地よさの体験 ・相手と視線を合わせる ・快、不快の表現 ・集団への適応
	<環境の把握> ・保有する感覚の活用 ・感覚や認知の特性への対応 ・感覚の補助及び代行手段の活用 ・感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	・視覚（明暗）聴覚（音、声、歌）味覚（食べ物、飲み物）臭覚（アロマ）による学習 ・触覚（様々な触感の物に触れる、タッピング、ボールプール等）や圧覚（押されたり引っ張られたりする感覚）温覚（暖かさ）冷覚（冷たさ）痛覚（痛み）による学習 ・前庭感覚（上下の振動、左右の揺れ、回転、加速減速）を養う（ブランコ、トランポリン等） ・ボディ・イメージ、左右概念の形成
	<身体の動き>（主の活動は自立活動室で行う） ・作業に必要な動作と円滑な遂行	・目と手の協応 ・いろいろな道具の操作など
	<コミュニケーション> ・コミュニケーションの基礎的能力 ・言語の受容と表出 ・言語の形成と活用 ・コミュニケーション手段の選択と活用 ・状況に応じたコミュニケーション	・発声機能を高める呼気の調整や筋緊張の弛緩 ・構音の学習 ・言語に代わるコミュニケーション手段の活用 ・パソコンや様々なスイッチ器具、情報機器を活用したコミュニケーション方法の習得

ねらい

○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知 識 及 び 技 能： ア 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 思考力、判断力、表現力等： イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 学びに向かう力、人間性等： ウ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
国語	G1 (小学部2段階)	1	4	知-2-ア(イ) 日常生活でよく使われている平仮名を読むこと。 「絵カードと文字カードとのマッチング」	知-2-イ(イ) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。 「手遊び歌」「掛け合いのある歌」	思B-2-イ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなそったり、書いたりすること。 「プリント学習」「なぞりアプリ」
			5			
			6	思A-2-ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。 思B-2-ア 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。	知-2-イ(エ) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。 「絵本の読み聞かせ」(対象年齢に配慮)	思C-2-ア 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべること。 「絵本の読み聞かせ」(参加型)
			7	宿泊学習に向けての学習 事前:しおり作り・話し合い・発表など 事後:振り返り・感想文作成など		
		2	9	知-2-イ(ア) 昔話や童謡の歌詞などの読み聞かせを聞いたり、言葉などを模倣したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	思A-2-ア 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。	思C-2-ウ 日常生活でよく使われている表示などの特徴に気づき、読もうとしたり、表された意味に応じた行動をしたりすること。
			10	「昔話などの読み聞かせ」	「ロールプレイ・場面を想定したプリント学習」	「いろんな表示」(トイレや非常口など)
			11	知-2-イ(ウ)㉗ いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむこと。 知-2-イ(ウ)㉘ 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けること。	思A-2-イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。 「ものまねゲーム」指示書に沿って身振り手振りで伝えるなど	思A-2-ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。 思B-2-ア 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。 修学旅行に向けての学習 事前:しおり作り・話し合い・発表など 事後:振り返り・感想文作成など
			12	「クリスマスカード」ペン、スタンプ、絵筆 「年賀状」ペン、スタンプ、絵筆など 「書き初め」筆		
		3	1	思A-2-エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。	思C-2-エ 絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすること。	
			2	知-2-イ(イ) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。	「ドラマ作成」(自分の台詞を読む) 「映画の吹き替え」	「絵本の読み聞かせ」(演じるなど)
			3	「手遊び歌」「掛け合いのある歌」		3年は2月中旬まで

ねらい

○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知識及び技能： ア 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 思考力、判断力、表現力等： イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 学びに向かう力、人間性等： ウ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
国語	G2 (小学部3段階)	1	4	知-3-ア(ア) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。 知-3-ア(イ) 姿勢や口形に気を付けて話すこと。 思A-3-オ 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。 「自己紹介」「挨拶」など	知-3-ウ(ア) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむこと。 知-3-ア(力) 正しい姿勢で音読すること。 思C-3-エ 登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすること。 「物語を読もう」	思C-3-ア 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像すること。 思C-3-イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えること。 「自分で操作するパネルシアター」 例)「がまくんとかえるくん」おてがみを通した学習
			5			
			6	思A-3-イ 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。 知-3-ウ(イ) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れること。 知-3-イ(イ) 図書を用いた調べ方を理解し使うこと。 宿泊学習に向けての学習 事前:しおり作り・話し合い・発表など 事後:振り返り・感想文作成など	思A-3-エ 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。 「挨拶」「面接練習」「帰着連絡」など 「物語を読もう」の続き	思B-3-エ 書いた語句や文を読み、間違いを正すこと。 思B-3-オ 文などに対して感じたことを伝えること。 「パネルシアターの感想を言い合う」 例)「がまくんとかえるくん」の手紙のやりとり等
			7			
		2	9	思A-3-ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。 「夏休みの思い出」	思A-3-力 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。 思B-3-ア 身近で見聞きたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。 「夏休みの思い出」	思B-3-イ 見聞きたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。 思B-3-ウ 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。 「5W1Hを考えた質問」(プリント学習)
			10	知-3-ア(ウ) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ること。		
			11	「ことば集め」など	知-3-ア(エ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと。 知-3-ア(オ) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ること。 「イラストと文章のマッチング(絵画配列など)」	思A-3-イ 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。 知-3-ウ(イ) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れること。 知-3-イ(イ) 図書を用いた調べ方を理解し使うこと。 修学旅行に向けての学習 事前:しおり作り・話し合い・発表など 事後:振り返り・感想文作成など
			12	知-3-ウ(ウ)㊦ 目的に合った筆記具を選び、書くこと。 知-3-ウ(ウ)㊧ 姿勢や筆記具の持ち方を正しく、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこと。 「年賀状」ペン、スタンプ、絵筆 「書き初め」筆		
		3	1		知-3-ウ(エ) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ること。 思A-3-ア 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ること。 「本に親しもう」「図書室の利用」など	思C-3-ウ 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすること。 「ウォークラリー」「ピクトグラム」
			2	知-3-イ(ア) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解すること。 「プリント学習」接続詞(順接・逆接など) 「指示書にしたがって何かを作る学習など」 はじめに・・・まず・・・次に・・・など		
			3			3年は2月中旬まで

参考

小2国語「たんぼほのちえ」

小2国語「ふきのとう」

<https://kvoiku.sho.jp/147742/>

<https://kvoiku.sho.jp/139371/>

s2_kokugo.pdf (ogori-mii.ed.jp)

ねらい

○言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知識及び技能： ア 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 思考力、判断力、表現力等： イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 学びに向かう力、人間性等： ウ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。
--

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
国語	G3 (中学部1段階)	1	4	<u>知-1-ア(ア)</u> 身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。	<u>思A-1-ア</u> 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。	<u>思C-1-ア</u> 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。
			5	「自己紹介」「挨拶」 「聴くスキル」「話すスキル」	思A-1-イ 話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること。	思C-1-イ 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。
			6	<u>知-1-イ(ア)</u> 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。	<u>知-1-ア(イ)</u> 発音や声の大きさに気を付けて話すこと。	<u>知-1-ウ(エ)</u> 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ること。
			7	思A-1-ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。 宿泊学習に向けての学習 事前：しおり作り・話し合い・発表など 事後：振り返り・感想文作成など	思A-1-エ 自己紹介や電話の受け答えなど、相手や目的に応じた話し方で話すこと。	思C-1-エ 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすること。
		2	9	思B-1-ア 見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること。	思A-1-オ 相手の話に関心を持ち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。	思C-1-ウ 日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動すること。
			10	思B-1-イ 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	「1分間スピーチ」	思B-1-エ 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すこと。
			11	<u>知-1-ア(ウ)</u> 長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ること。	<u>知-1-ア(エ)</u> 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くこと。	<u>知-1-イ(ア)</u> 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。
			12	「言葉集め」 (ex「っ」を含む言葉を考えよう)	知-1-ア(オ) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。	思A-1-ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて、内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。
		3	1	<u>知-1-ウ(ウ)㉞</u> 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。	「文の構成・接続詞の役割」	修学旅行に向けての学習 事前：しおり作り・話し合い・発表など 事後：振り返り・感想文作成など
			2	知-1-ウ(ウ)㉟ 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して文字を書くこと。	<u>知-1-ウ(ア)</u> 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	<u>知-1-ア(キ)</u> 語のまとまりに気を付けて音読すること。
			3	知-1-ウ(イ) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ること。	「俳句」「川柳」など	「朗読」
			3			3年は2月中旬まで

ねらい

○数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知 識 及 び 技 能： (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 思考力、判断力、表現力等： (2)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 学びに向かう力、人間性等： (3)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
数 学	G 1 (小学部1段階)	1	4	A-1-イ(ア)㉑【数量の基礎】 ものともとの対応させて配ること。 「カードゲームなどの学習」	A-1-ア(ア)㉑【数と計算】 3までの範囲で具体物を取ることに「計数」 個数、順序数、などを入れた御用学習など	B-1-ア(ア)㉑【図形】 関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせることに「同じ仲間をたくさん見つけよう」 車→エンジン、タイヤなど… 野菜→キャベツ、人参
			5			
			6	数-1-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形に関わる活動 数-1-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の問題を取り上げたり算数の問題を具体物などを用いて解決したりして、結果を確かめる活動 「宿泊学習・サマーマーケットに向けた買い物学習」	A-1-ア(ア)㉑【数と計算】 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付き、 A-1-ア(イ)㉑【数と計算】 数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすこと。 「計数」 色や形の違う物を数えたり、色だけが違う具体物を色別に数えるなどの学習	B-1-ア(ア)㉑【図形】 同じもの同士の集合づくりをすることに「複数のマッチング」 野菜を集めよう、海に関するものを集めようなど
			7			
		2	9	A-1-イ(ア)㉑【数量の基礎】 分割した絵カードを組み合わせることに「2～3枚のカードを組み合わせて絵画を完成させる学習」	数-1-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形に関わる活動 数-1-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の問題を取り上げたり算数の問題を具体物などを用いて解決したりして、結果を確かめる活動 「オータムマーケットに向けた買い物学習」	B-1-ア(イ)㉑ 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えることに「ウォッチング」 修学旅行の情景を見よう
			10			
			11	A-1-イ(ア)㉑【数量の基礎】 関連の深い絵カードを組み合わせることに。 A-1-イ(イ)㉑【数量の基礎】 ものともとの関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。	B-1-ア(ア)㉑【図形】 形が同じものを選ぶことに「形を知ろう(丸、三角、四角など)」マッチング	数-1-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形に関わる活動 数-1-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の問題を取り上げたり算数の問題を具体物などを用いて解決したりして、結果を確かめる活動 「修学旅行・ウインターマーケットに向けた買い物学習」
			12			
		3	1	A-1-ア(ア)㉑【数と計算】 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すこと。	B-1-ア(ア)㉑【図形】 似ている二つのものを結び付けること。「同じ仲間を見つつけよう(プリント 物の結びつき 参考)」	C-1-ア(イ)㉑【測定】 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現すること。 「数量の比較」 どっちが長い？どっちが大きい？
			2	A-1-ア(ア)㉑【数と計算】 5までの範囲で数唱をすること。 「数唱」		
			3	数を数える学習(すごろくゲームなど)		3年は2月中旬まで

ねらい

○数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知 識 及 び 技 能：

(1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等：

(2)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。

学びに向かう力、人間性等：

(3)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を解決しようとする態度、**数学**で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
数 学	G 2 (小学部 2段階)	1	4	A-2-ア(ア)㉗【数と計算】 ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等・多少が分かること。 A-2-ア(ア)㉘【数と計算】 ものの集まりと対応して、数詞が分かること。 A-2-ア(ア)㉙【数と計算】 ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。 「計数・ものの同等・多少」	B-2-イ(ア)㉗【図形】 身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ること。 B-2-イ(ア)㉘【図形】 縦や横の線、十字、△や口をかくこと。 B-2-イ(ア)㉙【図形】 大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすること。 B-2-イ(イ)㉗【図形】 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること。 「線や角、図形や記号などを分けたり集めたりする学習」	B-2-ア(ア)㉗【図形】 色や形、大きさに着目して分類すること。 B-2-ア(ア)㉘【図形】 身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類すること。 B-2-ア(イ)㉗【図形】 ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすこと。 D-2-ア(ア)㉗【データの活用】 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類すること。 D-2-ア(イ)㉗【データの活用】 身近なものの色や形、大きさ、目的及び用途等に関心を向け、共通点や相違点を考えながら、興味をもって分類すること。 「形や用途で分類する学習」
			5			
			6	数-2-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりする活動 数-2-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動 数-2-ア(ウ)【数学的活動】 問題解決した過程や結果を、具体物などを用いて表現する活動 「宿泊学習・サマーマーケットに向けた買い物学習」		
			7			
		2	9	A-2-ア(ア)㉚【数と計算】 個数を正しく数えたり書き表したりすること。 A-2-ア(ア)㉛【数と計算】 二つの数を比べて数の大小が分かること。 A-2-ア(ア)㉜【数と計算】 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いること。 「具体物や順序と数字を対応させる学習」 「すごろくなど」	数-2-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりする活動 数-2-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動 数-2-ア(ウ)【数学的活動】 問題解決した過程や結果を、具体物などを用いて表現する活動 「オータムマーケットに向けた買い物学習」	D-2-イ(ア)㉗【データの活用】 ものとものを対応させることによって、ものの同等や多少が分かること。 D-2-イ(イ)㉗【データの活用】 身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現すること。 「表やグラフから同等・多少を読み取る学習」
			10			
			11	A-2-ア(ア)㉝【数と計算】 0の意味について分かること。 A-2-ア(ア)㉞【数と計算】 一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。 A-2-ア(ア)㉟【数と計算】 具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。 「数の合成分解の学習」	C-2-ア(ア)㉗【測定】 長さ、重さ、高さ及び広さなどの量の大きさが分かること。 C-2-ア(ア)㉘【測定】 二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べること。 C-2-ア(ア)㉙【測定】 長い短い、重い軽い、高い低い及び広い狭いなどの用語が分かること。 C-2-ア(イ)㉗【測定】 長さ、重さ、高さ及び広さなどの置を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、置の大きさを用語を用いて表現したりすること。 11月「長さについての学習」 12・1月「重さについての学習」 2・3月「高さ・広さについての学習」	数-2-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりする活動 数-2-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動 数-2-ア(ウ)【数学的活動】 問題解決した過程や結果を、具体物などを用いて表現する活動 「修学旅行・ウインターマーケットに向けた買い物学習」
			12			
		3	1	A-2-ア(ア)㊱【数と計算】 10の補数が分かること。 A-2-ア(イ)㊲【数と計算】 数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。 「10の補数」「生活の中の数字」		D-2-ウ(ア)㉗【データの活用】 身の回りの出来事から○×を用いた簡単な表を作成すること。 D-2-ウ(ア)㉘【データの活用】 簡単な表で使用する○×の記号の意味が分かること。 D-2-ウ(イ)㉗【データの活用】 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表で表現すること。
			2			
			3			3年は2月中旬まで

ねらい

○数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 知 識 及 び 技 能： (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 思考力、判断力、表現力等： (2)日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。 学びに向かう力、人間性等： (3)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結びつけてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
--	--	--	--

教科	グループ	学期	月	1 年	2 年	3 年
数 学	G 3 (小学部 3 段階)	1	4	A-3-ア(ア)㉔ 20までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりすること。 A-3-ア(ア)㉕ 100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解したりすること。 「 数を数えたり大小を比べたりする学習 」	C-3-イ(ア)㉔【測定】 日常生活の中で時刻を読むこと。 C-3-イ(ア)㉕【測定】 時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解すること。 C-3-イ(イ)㉔【測定】 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現すること。 「 時刻・時間についての学習 」	B-3-ア(ア)㉔【図形】 ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えること。 B-3-ア(ア)㉕【図形】 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 B-3-ア(ア)㉖【図形】 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すこと。 「 ブロックなどを使った図形の学習 」 (前後・左右・上下などの指示書に従ってレゴブロックを完成させるなど) (身の回りにある物をブロックで作成するなど)
			5			
			6	数-3-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わる活動 数-3-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の事象から見いだした算数の問題を、具体物、絵図、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動 数-3-ア(ウ)【数学的活動】 問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝え合う活動 「 宿泊学習やサマーマーケットに向けた買い物学習 」		
			7			B-3-ア(イ)㉔ 身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 B-3-ア(イ)㉕ 身の回りにあるものの形を図形として捉えること。 B-3-ア(イ)㉖ 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすること。 「 定規やコンパス、分度器などを使った作図の学習 」
		2	9	A-3-ア(ア)㉙ 数える対象を2ずつや5ずつのまとまりで数えること。 A-3-ア(ア)㉚ 数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすること。 A-3-ア(ア)㉛ 具体物を分配したり等分したりすること。 A-3-ア(イ)㉔ 数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で生かすこと。 「 効率よく数えたり、分配、等分する学習 」	数-3-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わる活動 数-3-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の事象から見いだした算数の問題を、具体物、絵図、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動 数-3-ア(ウ)【数学的活動】 問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝え合う活動 「 オータムマーケットに向けた買い物学習 」	B-3-イ(ア)㉔【図形】 傾斜をつくると角ができることを理解すること。 B-3-イ(イ)㉔【図形】 傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい小さいと表現すること。 「 学校のないの傾斜を探す、角度の大きい小さいの表現など 」
			10			
			11	A-3-イ(ア)㉔ 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解すること。 A-3-イ(ア)㉕ 加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。 A-3-イ(ア)㉖ 1位数と1位数との加法の計算ができること。 A-3-イ(ア)㉗ 1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができること。 「 足し算の学習・足し算を使う場面を考え、実践する学習 」	C-3-ア(ア)㉔【測定】 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較すること。 C-3-ア(ア)㉕【測定】 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること。 C-3-ア(イ)㉔【測定】 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすること。	数-3-ア(ア)【数学的活動】 身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、算数に主体的に関わる活動 数-3-ア(イ)【数学的活動】 日常生活の事象から見いだした算数の問題を、具体物、絵図、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動 数-3-ア(ウ)【数学的活動】 問題解決した過程や結果を、具体物や絵図、式などを用いて表現し、伝え合う活動 「 修学旅行やウィンターマーケットに向けた買い物学習 」
			12			
		3	1	A-3-イ(ア)㉔ 減法が用いられる求残や減少等の場合について理解すること。 A-3-イ(ア)㉕ 減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。 A-3-イ(ア)㉖ 20までの数の範囲で減法の計算ができること。 A-3-イ(イ)㉔ 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすること。 「 引き算の学習・引き算を使う場面を考え実践する学習 」	11月「 長さについての学習 」 12・1月「 重さについての学習 」 2・3月「 高さについての学習 」	D-3-ア(ア)㉔【データの活用】 ものとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすること。 D-3-ア(ア)㉕【データの活用】 身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ること。 D-3-ア(イ)㉔【データの活用】 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現すること。 「 表や絵や図、記号を使用したグラフの学習 」 「 グラフの種類を紹介 」
			2			
			3			高3は2月中旬まで

ねらい

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成する。
 (1) 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
 (2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
 (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にそしてその能力の向上を図る態度を養う。

教科	グループ	学期	月	B(R5年)	C(R6年)	A(R7年)
国語	C 課程	1	4	会話の概要の聞き取りと要約 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A	会話の概要の聞き取りと要約 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A	会話の概要の聞き取りと要約 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A
			5	敬語・接続詞 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A	プレゼンテーション 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等AB	辞書の引き方 知識及び技能イ・思考力・判断力・表現力等BC
			6	敬語・接続詞 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A	プレゼンテーション 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等AB	慣用句 知識及び技能アイ・思考力・判断力・表現力等AB
			7	暑中見舞い 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B	暑中見舞い 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B	暑中見舞い 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B
		2	9	辞書の引き方 知識及び技能イ・思考力・判断力・表現力等BC	部首クイズ形式での学習 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B	朗読・読解「狐のつかい」(新美南吉) 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等C
			10	ことわざ 知識及び技能アイ・思考力・判断力・表現力等AB	部首クイズ形式での学習 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B	朗読・読解「狐のつかい」(新美南吉) 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等C
			11	書写 知識及び技能ウ・思考力・判断力・表現力等B	書写 知識及び技能ウ・思考力・判断力・表現力等B	書写 知識及び技能ウ・思考力・判断力・表現力等B
			12	書写 知識及び技能ウ・思考力・判断力・表現力等B	書写 知識及び技能ウ・思考力・判断力・表現力等B	書写 知識及び技能ウ・思考力・判断力・表現力等B
		3	1	百人一首 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等AC	古文 徒然草 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等C	文語と口語 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A
			2	百人一首 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等AC	古文 徒然草 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等C	文語と口語 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等A
			3	1年の振り返りの作文 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B	1年の振り返りの作文 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B	1年の振り返りの作文 知識及び技能ア・思考力・判断力・表現力等B

知識及び技能 ア 聞き方・話し方・漢字・文節・接続詞・段落・敬語・慣用句・読書 イ 辞書の使用 ウ 書写
 思考力・判断力・表現力等 A 聞くこと・話すこと B 書くこと C 読むこと

ねらい

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解したり、数学的に表現、処理したりする技能を身に付ける。(知識及び技能)
- ・日常の事象を数理的に捉え、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見出し統合的・発展的に考察する力、簡潔・的確に表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・数学的活動の楽しさや数学の良さに気づき、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

教科	グループ	学期	月	R5	R6	R7
数 学	C 課 程	1	4	ガイダンス 【A 数と計算 ウ(ア) エ(ア)㊦㊧㊨ (イ) オ(ア)㊦ (中2段階)】 ・かけ算の筆算、簡単な割り算 ・小数	ガイダンス 【A 数と計算 エ(ア)㊦㊧㊨ カ(ア)㊦㊧㊨ (高1段階)】 ・かけ算の筆算、割り算 ・分数	ガイダンス 【A 数と計算 ア イ㊦㊧㊨㊩ (中1段階)】 ・大きい数 ・およその数 ・三桁以上の計算
			5	↓	↓	↓
			6	【C 測定 ア(ア)㊦㊧㊩ (イ)㊦ (中1段階)】 ・長さ(単位m、km、メジャーの使い方)	【C 測定 ア(ア)㊦㊨㊩ (イ)㊦ (中1段階)】 ・容積(ml、L)	【B 図形 ア(ア) イ ウ (中1段階)】 ・図形の基本(三角形、四角形) ・面積の求め方
			7	↓	↓	↓
		2	9	【C 測定 ア(ア)㊦㊧㊩ (イ)㊦ (中1段階)】 ・重さ(g、kg、秤の使い方)	【D データの活用 ア(ア)㊦㊧㊨ (イ)㊦ (中2段階)】 ・表とグラフ (折れ線グラフの作成の仕方、読み方)	【B 図形 ア㊦㊧㊨ イ ウ(ア) (中2段階)】 ・図形の基本(二等辺三角形) ・面積の求め方 ・角の大きさの求め方
			10	↓	↓	↓
			11	【D データの活用 ア(ア)㊦ (イ)㊦ (中1段階)】 ・表とグラフ (棒グラフの作成の仕方、読み方)	【D データの活用 ア(ア)㊦㊧ (高1段階)】 ・表とグラフ (帯グラフ、円グラフの作成の仕方、読み方)	【B 図形 ア㊩㊦ イ (高1段階)】 ・図形の基本(円) ・円の面積の求め方
			12	↓	↓	↓
		3	1	【C 測定 イ(ア)㊦㊧ (イ)㊦ (中1段階)】 ・時間と時刻(時間の計算の仕方、経路図の書き方)	【C 測定 イ(ア)㊦㊧ (イ)㊦ (中1段階)】 ・時間と時刻(時間の計算～〇分後、〇分前、経路図の書き方、見方、調べ方)	【C 測定 イ(ア)㊦㊧ (イ)㊦ (中1段階)】 ・時間と時刻(時間の計算の仕方、経路図の書き方)
			2	【数学的活動 ア(ア)(イ) (中1段階)】 ・お金の数え方、支払い方 ・お小遣い帳の付け方	【数学的活動 ア(ア)(イ)(ウ) (高1段階)】 ・家計簿の付け方、領収書の見方 ・間取り	【数学的活動 ア(ア)(イ) (中1段階)】 ・お金の数え方、支払い方 ・お小遣い帳の付け方
			3	↓	↓	↓

ねらい 自然を愛する心情を養うとともに基本的な理解を図り、生活に生かそうとする態度を養う。

教科	グループ	学期	月	R5	R6	R7
理科	C 課程(高等部1段階・2段階)	1	4	B 地球・自然(高2段階)B-2-ア、B-1-ア 土地の作りと変化 流れる水の働きと土地の変化	A 生命(高2段階)A-2-ア 体のつくりと働き 体の名称 消化管	A 生命(高2段階) A-2-ア 体のつくりと働き いろいろな臓器 血液の流れ
			5		A 生命(高2段階)A-2-ウ 植物 春の植物 動物 動物の種類	B 地球・自然(高2段階)B-2-イ 月と太陽
			6	A 生命(高1段階)A-1-イ 動物の誕生	B 地球・自然(高2段階)B-2-イ 太陽の動き 日向と日陰	C 物質・エネルギー(高2段階)C-1-イ 電流の働き
			7	C 物質・エネルギー(高2段階)C-2-ア 燃焼の仕組み	A 生命(高2段階)A-2-ア 体のつくりと働き 病気やけがの予防 植物 夏の植物	
		2	9	A 生命(高2段階)A-2-イ 植物の養分と水の通り道	B 地球・自然(高1段階)B-1-イ 自然災害 台風	B 地球・自然(高1段階)B-1-イ 天気の変化 雲の様子 季節による気象の変化
			10.	B 地球・自然(高2段階)B-1-ア 流れる水の働きと土地の変化	A 生命(高2段階)A-2-ウ 植物 秋の植物	
			11.	A 生命(高2段階)A-2-ウ 生物と環境(人と環境の関わり)	C 物質・エネルギー(高2段階)C-2-エ 日常生活に関係の深いエネルギー 電気 身の回りにある物質 プラスチック 金属	A 生命(高1段階)A-1-ア 植物の発芽、成長、結実
			12.	C 物質・エネルギー(高2段階)C-2-ウ てこの規則性		C 物質・エネルギー(高2段階)C-1-ア 物の溶け方 水溶液の性質
		3	1	C 物質・エネルギー(高2段階)C-2-エ 電気の利用	A 生命(高2段階)A-2-ウ 植物 冬の植物 C	B 地球・自然(学習指導要領になし) 自然災害 地震 火災 A 生命(高2段階)A-2-ウ 生物と環境(動物、植物について)
			2	A 生命(高2段階)A-2-ア 体のつくりと働き 体のしくみ		
			3	(3年は2月中旬まで)	(3年は2月中旬まで)	(3年は2月中旬まで)

ねらい 社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象について関心を持ち、具体的に考察する活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を身につける。

教科	グループ	学期	月	B(R5)	C(R6)	A(R7)
社 会	C 課 程	1	4	「我が国の国土の自然環境と国民生活」 (高1段階)ウー1ー(ア) ・国内旅行に行こう ・地形や気候 ・自然環境の特色 ・産業と生活	「我が国の国土の自然環境と国民生活」 (高1段階)ウー1ー(ア) ・自然災害 ・公害の防止や生活環境の改善	「公共施設の役割と制度」 (高1段階)イー1ー(ア) ・身近な生活に関する制度 ・市役所や図書館の利用方法
			5			
			6			
			7		「外国の様子」 ・世界の様々な地域	
		2	9	「外国の様子」 ・世界の中の日本と国際交流	「社会参加するために必要な集団生活」 (高1段階)アー1ー(ア) ・社会参加に必要な役割や責任 ・ボランティア活動	「外国の様子」 ・グローバル化する世界と日本の役割
			10	「我が国の歴史上の主な事象」 (高1段階)オー1ー(イ) ・先史・古代 ・中世 ・近代・現代		「社会参加と決まり」 ・選挙の意義と目的 ・候補者の選び方 ・投票の仕方
			11			
			12			
		3	1	「社会生活を営む上で大切な法やきまり」 (高1段階)アー1ー(イ) ・日本国憲法 ・法律や条令	「制度に関わる学習活動」 (高1段階)アー1ー(イ) ・政治の仕組み ・政治と私たちの暮らし	「公共施設の役割と制度」 (高1段階)イー1ー(ア) ・身近な税の種類 ・税金の使われ方
			2	「公共施設の役割と制度」 (高1段階)イー1ー(ア) ・公共職業安定所の利用(求職登録、職業相談)		「産業と生活」 ・我が国の農業や水産業における食糧生産
			3	・市役所の利用(福祉サービス、障害年金の申請)	「社会参加ときまり」 ・社会参加するために必要な集団の生活	

- ねらい
- ・音声や文字、語彙、表現などについて、日本語と外国語とのちがいに気づき、親しむ。
 - ・簡単な外国語を使って表現したり、やりとりしたりすることができる。
 - ・外国の言語や文化に興味・関心をもつ。

教科	グループ	学期	1 学年	2 学年	3 学年
外国語	A 課程・B 課程	1	○外国の文化について知ろう①【その他の外国語】 ・ A L T の母国紹介 ○さまざまな英語表現を知ろう①【知・技（日本語との違い）】 ・ 月の名前（January, February, March, …） ・ 日付・数字（1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th, 7th, …） ・ 曜日（Monday, Tuesday, Wednesday, …） ・ 天気（sunny, cloudy, rainy …） ・ 体調、感情（fine, good, sad, hungry, …） など ○自分について表現しよう【思・判・表（発表）】 ・ 挨拶（Hello.） ・ 名前（I'm ～） ・ 年齢（I'm ～ years old.） ・ 好きなもの（I like ～.） ・ 住んでいるところ（I live in ～.） など	○外国の文化について知ろう①【その他の外国語】 ・ A L T の母国紹介 ○さまざまな英語表現を知ろう①【知・技（日本語との違い）】 ・ フルーツ（apple, strawberry, grape, …） ・ 野菜（tomato, cucumber, onion, …） など ○自分について表現しよう【思・判・表（発表）】 ・ 挨拶（Hello.） ・ 名前（I'm ～） ・ 年齢（I'm ～ years old.） ・ 好きなもの（I like ～.） ・ 住んでいるところ（I live in ～.） など	○外国の文化について知ろう①【その他の外国語】 ・ A L T の母国紹介 ○さまざまな英語表現を活用しよう①【知・技（日本語との違い）】 ・ 教科（Japanese, math, science, …） ・ 職業（teacher, pilot, baker, …） など ○自分について表現しよう【思・判・表（発表）】 ・ 挨拶（Hello.） ・ 名前（I'm ～） ・ 年齢（I'm ～ years old.） ・ 好きなもの（I like ～.） ・ 住んでいるところ（I live in ～.） ・ 得意なこと（I can ～.） など
		2	○さまざまな英語表現を知ろう①【知・技（日本語との違い）】 ・ 色の名前（red, orange, yellow, green, …） ・ 体の部位（head, shoulder, knees, toes, …） など ○英語を聞いて考えよう【知・技（聞くこと）】 ・ 簡単な語句や表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動 など ○英語でやりとりをしよう②【思・判・表（書く・やりとり）】 ・ 調子はどう？ （How are you? – I'm fine.） など ○外国の文化について知ろう②【その他の外国語】 ・ ハロウィン ・ クリスマス など	○さまざまな英語表現を知ろう①【知・技（日本語との違い）】 ・ 動物（dog, cat, rabbit, lion, tiger, …） ・ スポーツ（soccer, baseball, basketball, …） など ○英語を聞いて考えよう【知・技（聞くこと）】 ・ 簡単な語句や表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動 など ○英語でやりとりをしよう②【思・判・表（書く・やりとり）】 ・ ○○はできますか？ （Can you ～? – Yes, I can. / No, I can't.） など ○外国の文化について知ろう②【その他の外国語】 ・ ハロウィン ・ クリスマス など	○さまざまな英語表現を知ろう①【知・技（日本語との違い）】 ・ 行事（entrance ceremony, .sports day, …） ・ 料理（spaghetti, bread, steak, salad, …） など ○英語を聞いて考えよう【知・技（聞くこと）】 ・ 簡単な語句や表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動 など ○英語でやりとりをしよう①【思・判・表（書く・やりとり）】 ・ 買い物をするときの表現 （What can I get for you? – ～ and ～ please.） など ○外国の文化について知ろう②【その他の外国語】 ・ ハロウィン ・ クリスマス など
		3	○英語を読んだり書いたりしよう【思・判・表（書く）】 ・ 自分や友だちの名前 ・ 簡単な英単語 など ○英語でやりとりをしよう②【思・判・表（書く・やりとり）】 ・ ○○は好きですか？ （Do you like ～? – Yes I do. / No, I don't.） など ○外国の文化について知ろう③【その他の外国語】 ・ お正月 ・ バレンタイン など	○英語を読んだり書いたりしよう【思・判・表（書く）】 ・ 自分や友だちの名前 ・ 簡単な英単語 ○英語でやりとりをしよう②【思・判・表（書く・やりとり）】 ・ あなたはどんな○○が好きですか？ （What ～ do you like? – I like ～.） など ○外国の文化について知ろう③【その他の外国語】 ・ お正月 ・ バレンタイン など	○英語を読んだり書いたりしよう【思・判・表（書く）】 ・ 自分や友だちの名前 ・ 簡単な英単語 ○英語でやりとりをしよう②【思・判・表（書く・やりとり）】 ・ ほしいものは何ですか？ （What do you want? – I want ～.） など ○外国の文化について知ろう③【その他の外国語】 ・ お正月 ・ バレンタイン など

※各学年の実態に応じて、内容やテーマを変更して実施する。（1年間の中で、【知・技】【思・判・表】【その他の外国語】が網羅できるとよい。）

※【その他の外国語】として、シーズンに合わせて各国の文化が感じられる授業を組み込めるとよい。（イースターやハロウィン、クリスマス、お正月、バレンタインなど）

- ねらい
- ・音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づき、外国語で表現することに慣れ親しむ。
 - ・場面や状況に応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、外国語の語彙を読んだり文字を書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力を養う。
 - ・外国語の背景にある文化について理解を深め、他者に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科	グループ	学期	月	R 5 （2023）	R 6 （2024）	R 7 （2025）
外国語	C 課程	1	4	○ガイダンス ○A L Tの母国紹介【C】 ○英語で自己紹介をしよう【A】【B(イ)】【B(エ)】 ・挨拶 ・名前 ・年齢 ・好きなもの ・得意なこと ・住んでいるところ ・趣味 ・なりたい職業 など	○ガイダンス ○A L Tの母国紹介【C】 ○英語で自己紹介をしよう【A】【B(イ)】【B(エ)】 ・挨拶 ・名前 ・年齢 ・好きなもの ・得意なこと ・住んでいるところ ・趣味 ・なりたい職業 など	○ガイダンス ○A L Tの母国紹介【C】 ○英語で自己紹介をしよう【A】【B(イ)】【B(エ)】 ・挨拶 ・名前 ・年齢 ・好きなもの ・得意なこと ・住んでいるところ ・趣味 ・なりたい職業 など
			5	○月の名前を覚えよう【A】 ・月の名前（January, February, …） ○誕生日を聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・When is your birthday? - My birthday is ~~, など	○今日は何曜日？【A】【B(ウ)】 What day is it today? – It's sunny / cloudy … ○調子はどうか聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・How are you? - I'm fine / good / hungry / sleepy … など	○数字を覚えよう【A】 ・How many ～？ ・1, 2, 3, … 20 ○今日は何日？【A】【B(ウ)】 ・日付の表現（1 st , 2 nd , 3 rd , 4 th , … ） What is the date today? – It's January 1 st . など
			6	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・形容詞（funny, cute, beautiful … ） ○ほしいものを聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・Do you want ～? – Yes, I do. / No, I don't. ・What ～ do you want? – I want ~~,	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・スポーツ ○オリンピックで見たい競技は？【A】【B(ウ)】 ・What sports do you want to watch ? - I want to watch ~~, など	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・色 ・動物 ・フルーツ など ○好きなものを聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・Do you like ～? – Yes, I do. / No, I don't. ・What ～ do you like? – I like ~~, など
			7	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・服装に関わる言葉（shirt, pants, shoes, … ） ○外国の文化について知ろう【C】 ・いろいろな国の洋服や衣装について など	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・乗り物 ○外国の文化について知ろう【C】 ・いろいろな国の観光名所について など	○英語で挨拶をしよう【A】 ・Good morning / Good afternoon … など ○外国の文化について知ろう【C】 ・いろいろな国の挨拶について
			9	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・夏の思い出（went to ～, ate ～, saw ～ … ） ○夏休みの思い出を聞きあおう【B(イ)】 ・What did you do at summer vacation? など	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・趣味（playing ～, reading, running, … ） ○得意なことを聞きあおう【B(イ)】 ・What are you good at? – I' good at ～, など	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・趣味（playing ～, reading, running, … ） ○趣味を聞き合おう【B(イ)】 What's your hobby? – My hobby is ~~, など
			10	○英語を聞いて考えよう【B(ア)】 ○英語を読んだり書いたりしよう【B(エ)】【B(オ)】	○英語を聞いて考えよう【B(ア)】 ○英語を読んだり書いたりしよう【B(エ)】【B(オ)】	○英語を聞いて考えよう【B(ア)】 ○英語を読んだり書いたりしよう【B(エ)】【B(オ)】
		2	11	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・動詞（起きる、食べる、行く、遊ぶ、入浴する、寝る など） ○何時に何をするか聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・What time do you ～? – I ～ at ～, など	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・施設（学校、図書館、スーパー など） ○英語で道案内をしよう【A】【B(ウ)】 ・How can I get to the ～? - go straight. など	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・食べ物 ・飲み物 ・料理 など ○英語で注文をしよう【A】【B(ウ)】 ・What can I get for you? - ～ and ～ please. など
			12	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・動名詞（playing ～, singing, jumping … ） ○できるかどうか聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・Can you ～? – Yes, I can. / No, I can't.	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・教科、行事 など ○お気に入りについて聞きあおう【A】【B(ウ)】 ・What is your favorite ～？	○いろいろな英語表現を知ろう【A】 ・クリスマス ○クリスマスに何が欲しいか聞こう【A】【B(ウ)】 ・What do you want for Christmas? など
		3	1	○スピーチをしよう【B(イ)】【B(エ)】 ・既習事項をもとに原稿作成 ・発表	○スピーチをしよう【B(イ)】【B(エ)】 ・既習事項をもとに原稿作成 ・発表	○スピーチをしよう【B(イ)】【B(エ)】 ・既習事項をもとに原稿作成 ・発表
			2	○ALT にお礼の手紙を書こう【B(エ)】	○ALT にお礼の手紙を書こう【B(エ)】	○ALT にお礼の手紙を書こう【B(エ)】
			3	○外国の文化について知ろう【その他の外国語】 ・いろいろな国の学校生活について など	○外国の文化について知ろう【その他の外国語】 ・いろいろな国の給食について など	○外国の文化について知ろう【その他の外国語】 ・いろいろな国の食べ物について など

※【A】：知・技（日本語との違い）、【B】：思・判・表現（ア）聞くこと・（イ）話すこと[発表]・（ウ）話すこと[やりとり]・（エ）書くこと・（オ）読むこと、【C】その他の外国語

※各学年の実態に応じて、内容やテーマを変更して実施する。

※【C その他の外国語】として、シーズンに合わせて各国の文化が感じられる授業を組み込めるとよい。（イースターやハロウィン、クリスマス、お正月、バレンタインなど）

ねらい

将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
職業	A・B課程	1	4	自分の長所・短所を考える。 ○キャリアパスポート	自分の進路を考えよう ○キャリアパスポート	社会人になる準備 現場実習 ○キャリアパスポート
			5	働くということは？	軽作業(課題別)	現場実習に向けて 情報教育(パソコン検定練習)
			6	接客サービス検定	軽作業(課題別)	現場実習とキャリアパスポート 情報教育(パソコン検定練習)
			7	接客サービス検定、軽作業	現場実習に向けてキャリアパスポート	現場実習／報告会準備 情報教育(パソコン検定練習)
		2	9	校内実習に向けてキャリアパスポート	現場実習(事前・実習日誌・健康管理や身だしなみ)	社会人になる準備(健康管理など) 情報教育(パソコン検定練習)
			10	校内実習	現場実習(事前・事後)/軽作業	社会人になる(経済生活など) 情報教育(パソコン検定練習)
			11	進路先見学事前学習	現場実習(事前・事後実習報告会)/軽作業・清掃検定(机拭き全員・掃き掃除希望者)	パソコン検定
			12	進路先見学会 実習報告会事前学習	清掃検定/現場実習(事後)	社会人に向けて(余暇活動) 報告会準備
		3	1	軽作業(課題別)	清掃検定	社会人に向けて(困ったときの相談場所)
			2	軽作業(課題別)	清掃検定	社会人に向けて(社会の制度)、 将来の生活
			3	○キャリアパスポート、学年のまとめ	○キャリアパスポート、学年のまとめ	○キャリアパスポート、3年間のまとめ

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
職業	C 課程	1	4	(A 職業生活) (P5) 自分のこと キャリアパスポート	(A 職業生活) (P33) 働くために(健康管理)	(A 職業生活) (P89) 社会人になる(社会人の生活)
			5	↓	(A 職業生活) (P38) 働くために(清潔・身だしなみ)	(A 職業生活) (P93) 社会人になる(卒業後の健康管理)
			6	働くこと (P19)	(C 産業現場等における実習) 現場実習に向けて(事前・事後) 軽作業	(C 産業現場等における実習) 現場実習、キャリアパスポート (B 情報機器の活用)情報教育
			7	↓ (A 職業生活)接客検定	(A 職業生活) (P42) 働くために(人との付き合い・マナー)	(A 職業生活) (P97) 社会人になる(経済生活)
		2	9	(A 職業生活) 校内実習(事前) リアパスポート	(A 職業生活)職業ガイダンス (C 産業現場等における実習) 現場実習(事前・事後)、実習の課題 キャリアパスポート	(A 職業生活)職業ガイダンス (C 産業現場等における実習) 現場実習(事前・事後)、実習の課題
			10	校内実習(事後)	(A 職業生活) (P47) 働くために(電話・携帯・スマホ)	(A 職業生活) (P100) 社会人になる(余暇の過ごし方)
			11	(A 職業生活) 進路先見学会(事前・事後)	現場実習事後学習 (A 職業生活)職業ガイダンス (B 情報機器の活用)情報教育(ワード)	(B 情報機器の活用) パソコン検定
			12	(A 職業生活) 自分の進路を考える (P55) 実習報告会事前事後学習	(B情報機器の活用) 情報教育(パワーポイントで発表) 清掃検定に向けて	(A 職業生活) (P105) 社会人になる(生活の場) (困ったときは)
		3	1	(A 職業生活)職業ガイダンス (A 職業生活) 自分の進路を考える (P55) 軽作業	(A 職業生活) 清掃検定 働くために(金銭の管理) (P50)	(A 職業生活) (P108) 社会人に向けて(知っておきたいこと)
			2	↓ 軽作業	(A 職業生活) 清掃検定	(A 職業生活) (P114) 社会人に向けて(将来のこと)
			3	(A 職業生活) 学年のまとめ キャリアパスポート	(A 職業生活) 学年のまとめ キャリアパスポート	(A 職業生活) 3年間のまとめ キャリアパスポート

※ 「ひとりだちするための進路学習」日本教育研究出版をもとに作成 ()は教科書の掲載ページ

ねらい

衣食住などに関する学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けての力を育てる。

A:家族・家庭生活

B:衣食住の生活

C:消費生活・環境

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
家庭	A B C 課程	1	4	わたしの家庭生活 A (P6) これまでの家庭生活 これからの家庭生活	被服 B (P68・69) 衣服の選び方、衣服の素材	ライフスタイルと環境 C (P120) 計画的な消費生活
			5	安全で快適な住まい A (P90) 安全に済むために(地震・火災)	安全で快適な住まい A (P90) 安全に済むために(地震・火災)	安全で快適な住まい A (P90) 安全に済むために(地震・火災)
			6	食事と健康 B (P48) 調理を始める前に	食事と健康 B (P40) 元気な体を作る食事 食事の役割	食事と健康B (P44) 元気な体を作る食事 食事の計画を立てよう
			7	防災センターについて 調理計画・実習B (調理室使用について・お茶の入れ方・軽食)	食事と健康 B 調理計画・実習 (朝食メニュー)	食事と健康 B 調理計画・実習 (弁当、汁物、デザートなど)
		2	9	安全に住むために(水害) A (P108)	安全に住むために(水害) A (P108)	安全に住むために(水害) A (P108)
			10	食事と健康 B (P48) 調理を始める前に	食事と健康B (P48) 元気な体を作る食事 栄養と食品の関係	食事と健康B (P48) 元気な体を作る食事 食品の選び方
			11	食事と健康 B 調理計画・実習 (炊飯・レトルト・冷凍食品)	食事と健康 B 調理計画・実習 (郷土料理・外国の料理等)	食事と健康 B 調理計画・実習 (自由献立:バランスのとれた食事)
			12	被服 B (P74) 衣服の洗濯と保管	安全で快適な住まい A (P108) 安全に住むために(防犯)	ライフスタイルと環境 C (P131) 環境に配慮した生活
		3	1	被服 B (P66) 季節や場面に合わせた服装	ライフスタイルと環境 C (P116) 家庭の経済生活	ライフスタイルと環境 C (P133) 余暇の過ごし方
			2	被服 B (P84) 衣服の補修又は小物作り	安全で快適な住まい A (P90) 健康で快適に住まう	家族とくらし A (P35) ともに支え合う生活
			3	家族とくらし A (P16) 家族や家庭の役割	安全で快適な住まい A (P100) みんなと共に住まう(ごみの分別等)	

※ 「くらしに役立つ家庭」東洋館出版社をもとに作成 ()は教科書の掲載ページ

※ ABCは学習指導要領の内容(A:家族・家庭生活 B:衣食住の生活 C:消費生活・環境)

ねらい ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽に親しみ、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

内容 下記の行う時期、期間は各学年で決める。

教科	学期	月	1年	2年	3年
音 楽	1	4	A表現 ＜歌唱、鑑賞＞年間通して取り組む ・校歌 ・学年の歌 ・全校の歌 ・共通教材(いずれか1曲) 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」 「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」	A表現 ＜歌唱、鑑賞＞年間通して取り組む ・学年の歌 ・全校の歌 ・共通教材(いずれか1曲) 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」 「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」	A表現 ＜歌唱、鑑賞＞年間通して取り組む ・学年の歌 ・全校の歌 ・共通教材(いずれか1曲) 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」 「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」
		5			
		6	A表現 ＜身体表現、創作＞民舞…鳴子使用 曲名 ・よっちょれ ・ハイパーおはら節 ・よさこいエイサー琉球王 など	A表現 ＜身体表現、創作＞民舞(エイサー)… パーランク使用 曲名 ・あしびなー ・ミルクナムリ ・唐船ドーイ など	A表現 ＜器楽、創作＞和太鼓 曲名 ・えのめのえびす ・豊年太鼓 ・輝けばやし ・ぶち合わせ太鼓 など
		7			
	2	9	A表現 ＜器楽、創作＞ 曲名 ・生徒からリクエスト曲 など	A表現 ＜器楽、創作＞ 曲名 ・生徒からリクエスト曲 など	A表現 ＜器楽、創作＞ 曲名 ・生徒からリクエスト曲 ・修学旅行に関する曲(行く地域の曲) など
		10			
		11	B鑑賞 ＜鑑賞＞ 曲名 ・西洋音楽	B鑑賞 ＜鑑賞＞ 曲名 ・民族音楽	B鑑賞 ＜鑑賞＞ 曲名 ・日本音楽
		12			
	3	1	・1年間で行ってきた歌唱、身体表現や器楽の中から、卒業生を送る会に向けて発表するための練習をする。		
		2	A表現 ＜歌唱、鑑賞＞・卒業式で歌う歌		
		3			

ねらい 楽しく美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わう

教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
美術		1	4	・ガイダンス ・平面構成（デザイン） （三原色を使って 表そう）	・ガイダンス ・平面構成（デザイン） （三原色を使って 表そう）	・ガイダンス ・いろいろな技法で表そう（絵画） マーブリング、デカルコマニー、コラージュ等
			5	↓	↓	↓
			6	・いろいろな技法で表そう（絵画） マーブリング、デカルコマニー、コラージュ等	・西洋の作品の鑑賞と制作 例：ピカソのゲルニカをクラスの数に 分割し、1人1枚模写する 最後に組み合わせて大きな絵を作る 等	・CDパッケージのデザイン（デザイン）
			7	↓	↓	↓
		2	9	・生活の中のデザイン エコバッグ、タンブラー作り等 （デザイン）	・彫刻動物園（立体）	・コマ撮りアニメーション（映像）
			10	↓	↓	↓
			11	・日本の作品の鑑賞と制作 例：浮世絵をコラージュで再現する 等	・版画 来年のカレンダー、年賀状を作ろう（絵画）	・思い出をかたちに（絵画or立体） 修学旅行での体験をもとに作品を作る
			12	↓	↓	↓
		3	1	・卒業装飾の制作 ・等身大 自画像（立体）	・卒業装飾の制作	・卒業装飾の制作
			2	↓	↓	↓
			3	↓	↓	↓

重点目標				○望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、安全で調和のある生活をする。 ○いろいろなものの見方や考え方があることを理解しながら、人間関係を築いていく。 ○働くことの大切さを知り、進んでみんなのために役に立つことをする。 ○自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。		
教科	グループ	学期	月	1年	2年	3年
特 別 の 教 科 道 徳		1	4	●私の長所 友だちの長所(キャリアサポートファイルとの連携) A個性の伸長 B親切、思いやり	●私の長所 友だちの長所(キャリアサポートファイルとの連携) A個性の伸長 B親切、思いやり	●私の長所 友だちの長所(キャリアサポートファイルとの連携) A個性の伸長 B親切、思いやり
			5	●安全に暮らそう私たちの町 A節度、節制 D自然愛護	●安全に暮らそう私たちの町 A節度、節制 D自然愛護	●安全に暮らそう私たちの町 A節度、節制 D自然愛護
			6	●宿泊学習先の自然や文化 C 伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度	●あしたへのステップ現場実習に向けて C勤労、公共の精神	●あしたへのステップ現場実習に向けて C勤労、公共の精神
			7	●外国の文化を知ろう (食文化、オリンピックとパラリンピックなど) C 国際理解、国際親善	●外国の文化を知ろう (食文化、オリンピックとパラリンピックなど) C 国際理解、国際親善	●外国の文化を知ろう (食文化、オリンピックとパラリンピックなど) C 国際理解、国際親善
		2	9	●あしたへのステップ校内実習に向けて C勤労、公共の精神	●あしたへのステップ現場実習に向けて C勤労、公共の精神	●あしたへのステップ現場実習に向けて C勤労、公共の精神
			10	●選挙について知ろう C公正、公平、社会正義	●修学旅行先の自然や文化 C 伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度	●修学旅行先の自然や文化 C 伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度
			11	●私たちの住む地球 D自然愛護	●私たちの住む地球 D自然愛護	●私たちの住む地球 D自然愛護
			12	●より良い学校に地域社会に A 正直、誠実	●選挙について知ろう C公正、公平、社会正義	●選挙について知ろう C公正、公平、社会正義
		3	1	●私の長所 (キャリアパスポートファイルのまとめ) Dよりよく生きる	●私の長所 (キャリアパスポートファイルのまとめ) Dよりよく生きる	●私の長所 (キャリアパスポートファイルのまとめ) Dよりよく生きる
			2	●卒業する先輩たちへ B 親切、思いやり B 感謝	●卒業する先輩たちへ B 親切、思いやり B 感謝	●校外学習先での公共のルールやマナー C規則の尊重
			3	●家族への感謝 B感謝 C家族愛、家庭生活の充実	●家族への感謝 B感謝 C家族愛、家庭生活の充実	●家族への感謝 B感謝 C家族愛、家庭生活の充実

令和5年度 総合的な探究の時間 シラバス

1. ねらい

：課題の発見と解決に必要な知識技能を身につけるとともに、必要な情報を収集し、主体的、協働的に取り組むことができる。

2.内容

(1)やきりタイム

：生徒の興味関心に基づいた探求グループを選択し、探求活動を通して個性や社会性を伸ばす。

(2) 修学旅行先を選ぼう

：校外の自然や文化について友達と協働しながら情報を収集したり発表したりして修学旅行先を選ぶ。

(3)宿泊学習・校外学習の事前事後学習

：校外の自然や文化について友達と協働しながら情報を収集したり発表する。

(4)ALT(外国語)：英語のシラバスを参照。

3.評価基準

単元名	探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力、人間性
やきりタイム	・各グループでの探究において課題の発見と解決に必要な知識技能を身につけることができる。	・課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選んで収集することができる。	・探究を通して自分の個性や特徴を見つめながら、多様な意見を受け入れたり、探究活動に主体的、協働的に取り組むことができる。
修学旅行先を選ぼう	・探究活動において課題の発見と解決に必要な知識技能を身につけることができる。	・修学旅行先について地域の特色や特徴などをテーマに応じて手段を選択し、情報を収集できる。	・友達と探究活動に主体的、協働的に取り組むことができる。
宿泊学習・校外学習事前事後学習	・探究活動において課題の発見と解決に必要な知識技能を身につけることができる。	・旅行先について地域の特色や特徴などをテーマに応じて手段を選択し、情報を収集できる。	・友達と探究活動に主体的、協働的に取り組むことができる。
ALT(外国語)	英語のシラバスを参照		

4.年間計画

学 期	月	やきりタイム	修学旅行先を選ぼう	事前事後学習	ALT(外国語)
1 学 期	4	○やきりタイムの所属決め		○1年生は宿泊学習 の事前学習を6月～ 7月に実施	英語の シラバスを参照
	5	○それぞれのグループで探求 開始			
	6	(顔合わせ・探求内容の相談など)			
	7				
2 学 期	9	○それぞれのグループで探求 ・土曜参観で中間報告(掲示物)	○2年生は9月～10 月で実施 (その間やきりタイムは 1, 3年生で活動する)		
	10	・1年生の校内実習の期間は やきりタイムを休止する			
	11				
	12				
3 学 期	1	○それぞれのグループで探求 ・活動報告会(3年生最終日)		○3年生は卒業旅行 の事前事後学習を3 月頃に実施	
	2	・次年度の希望のとりまとめ			
	3				

5. 探究のグループについて

	名 称	内 容
①	ものづくり探究	制作に興味のあるものが集まり表現の仕方について探求する。自分の好きなものを描いたり作ったりする。また、グループ内で協力して共同作成をする。
②	ミュージック探究	楽器演奏、音楽鑑賞、ミュージシャンや音楽グループの歴史などに興味がある生徒が集まり探究する。
③	スポーツ探究	スポーツや競技に興味がある生徒が集まり探究する。
④	映像探究	映像に興味がある生徒が集まり探究する。自分たちで映像の制作などを行う
⑤	ダンス探究	ダンスに興味のあるものが集まり探求する。ダンスのジャンルを調べたり、踊ったりする。

令和5年度 高等部 自立活動（時間における指導）

ねらい ※下記は主な自立活動の区分。必要に応じて6区分のそれぞれの分野の自立活動を加味しながら指導すること

〈人間関係の形成〉 自他の感情や気持ちの理解、自己表現、言語の理解と表出、ルール理解（SST等）支援者との関係づくり

〈身体の動き〉 体全体のぎこちなさの改善、個別カリキュラムに沿った身体ケア、姿勢保持、身体的能力向上 他

自立活動の区分	時間 / 場所	自立活動のねらい	グループ分け	方法・内容例
① 身体の動きに関する こと	通年 ・時間 9:30～10:00 毎日 内容は、実態に応じて個別または少人数のグループ指導を基本とする。 ・場所 自立活動室は、係の配分に寄る その他、実施可能な場所（教室等） ・週1で合同運動実施	・姿勢と運動・動作の基本的技能 ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ・日常生活に必要な基本的動作 ・身体の移動動作 ・作業に必要な走だと円滑な遂行	【抽出】 A 課程 または、必要な生徒	・自立活動係主体の指導シートに順次、随時実態把握や医療機関と連携を取って内容を決め、実践する。 ・指導技能については、実技研修を重ねると共に、自立活動係作成の動画や資料等を参考にすること。 ・合同運動については、基礎運動を中心に、支援方法の伝達や注意点を共通理解しつつ、参加生徒の集団での意欲向上をねらいながら、身体を整えていく。
② 自己理解や自己表現等に関する こと（カウンセリング）	5月と9月 ・時間は、個別の時間が取れる時間（学年対応の日に15分位） ・頻度 可能であれば5月と9月の2回	・心理的な安定 ・人間関係の形成 ・コミュニケーション	【全員】 1対1の個別対応	「〇〇先生と、トークタイム！」 <進め方> ○年度初めに、生徒全員が担任の先生、又は他の先生と1対1で個別面談ができる時間があり、何でも相談できることを生徒に知らせる。 ○始めは、本人の好きな話から入ると良い。何かを指導したり、何かを聞き出したりするところからスタートすると、構えてしまうので、自然と大人と話せる空間を作る事を優先する。 ○話の中で、早急に対応すべきことが出た場合に、対応する。また、数回聞き取りが必要な事案が出た場合は、継続していく。
③ 人間関係の形成に関する こと	※1学期は実態の把握と準備、 2学期から開始 ・時間 9:30～10:00 （上記の集団の指導と同時に） ・頻度 ※個別で可能な回数 （火）1年・（水）2年・（木）3年 ・場所：教室、相談室等	・心理的な安定（情緒の安定） ・環境の把握（保有する感覚の活用） （感覚や認知の特性への対応） （感覚の補助及び代行手段の活用）	【個別】 必要に応じて	・感情のマッチング ・セルフマネジメント ・視知覚学習（ビジョントレーニングなど） ・空間認知、方向感覚等の学習（位置の確認、地図の見方等） ・手と目の教養動作 ・発達性運動機能障害の学習 ・記憶の学習 ・コミュニケーションボード、VOCA、PECSなどのコミュニケーションツールの習得の学習 ・発声、発語、吃音の指導など

※教師の一方的な抽出ではなく、個別の指導計画の目標に身体の高さの時間における指導が必要な生徒。